

岐阜高専「海外インターンシップガイダンス・壮行会」を開催

岐阜高専は、海外で活躍できる技術者を育成するため、海外の大学等との交流協定の締結を進め、学生が実際に海外で学べる環境の整備に力を入れている。

今年度は12名の専攻科1年生（昨年度5名）が、海外インターンシップに派遣されることとなり、7月19日（金）、派遣予定の学生を対象にガイダンス及び壮行会を行った。

学生たちは、英国ダーラム・TYK Ltd.2名、バンドン工科大学3名、マレーシア工科大学3名、ドイツ・ハノーバー大学2名、米国アイオワ大学2名に分かれ、2～3週間、先方の大学教員の研究室に配属され研究指導等を受ける。

壮行会は、北田敏廣校長、和田清国際交流室長、山本高久国際交流室員も参加して行われ、参加した学生諸君は、志を共有して心理的負担が軽減されるとともに、成長の場として「失敗を恐れず貪欲に学んでこよう」という思いを新たにした。



壮行会後の記念撮影。北田校長（前列中央）、和田教授・国際交流室長（後列向かって右端）、山本（高）准教授・国際交流室員（後列左端）と12名の学生。